

報道解禁（文化審議会文化財分科会終了後）

テレビ・ラジオ・インターネット

**令和7年11月21日（金）17時以降
新聞**

令和7年11月22日（土）朝刊

担当課：福岡県教育庁教育総務部
文化財保護課

直通：092-643-3875

内線：5388

担当：松本将一郎

国登録有形文化財（建造物）の登録について

- 国の文化審議会（会長 しまたにひろゆき 島谷弘幸）は、令和7年11月21日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに163件の建造物を国登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申する予定です。
- この中で福岡県関連の国登録有形文化財（建造物）は2件です。官報告示後、福岡県内の国登録有形文化財（建造物）は計251件となる予定です。

[答申予定の国登録有形文化財（建造物）]

たいしょうじせきすいあんちやしつ 大正寺積翠庵茶室・こしかけまちあい 腰掛待合 計2件（北九州市八幡東区東 ひがしだい ら まち 台良町19-1）

<本資料に関する問合せ先>

福岡県教育庁教育総務部文化財保護課（担当：松本将一郎）

電話番号 092-643-3875

*本資料の写真画像提供を御希望の方は、上記連絡先にお問い合わせください。

<大正寺積翠庵に関する問合せ先>

北九州市都市ブランド創造局総務文化部文化企画課（担当：塚本育恵）

電話番号 093-582-2391

〔国登録有形文化財（建造物）の説明〕

たいしょうじせきすいあんちやしつ こしかけまちあい
大正寺積翠庵茶室・腰掛待合

所在地 福岡県北九州市八幡東区東台良町 1 9 - 1

構造形式（建築年代／改修年代）

茶室 木造平屋建、瓦葺一部銅板葺、建築面積 84 m²（昭和 46 年）

腰掛待合 木造平屋建、人工スレート葺、建築面積 4.6 m²（昭和 46 年頃）

概要

大正寺は、北九州市八幡東区の皿倉山中腹に位置する臨済宗寺院である。境内には、昭和 46 年（1971）に八幡茶道文化協会が寄進した修養用の茶室と、露地に面して腰掛待合が建つ。なお、露地は重森三玲によって同時期に作庭されたものである。

茶室は、木造平屋建、切妻造、棧瓦葺とし、南東に銅板葺の庇を廻らす。広間と小間の茶室、水屋などを配し、円窓や火灯窓風の欄間など各室洗練された意匠であり、布基礎に色石をあしらう。設計は大江豊典、棟梁は花山作衛、施工は花山新太郎によるものである。

腰掛待合は、茶室の南東に位置し、露地に北面して建つ。木造平屋建、片流造招屋根付で、屋根は人工スレート葺とする。吹放ちの北面以外は土壁とし、内部の南寄りに腰掛を設ける。柱や桁、母屋に丸太を用いた数寄屋風のつくりである。

いずれも重森三玲作の露地と調和した建造物であり、茶室は造形の規範となる建造物として、腰掛待合は歴史的景観に寄与する建造物として評価された。

<参考>

「国登録有形文化財（建造物）の登録基準」

建築物、土木構造物及びその他の工作物のうち、原則として建設後 50 年を経過し、かつ、次の各号のいずれかに該当するもの。

- （１）国土の歴史的景観に寄与しているもの
- （２）造形の規範となっているもの
- （３）再現することが容易でないもの

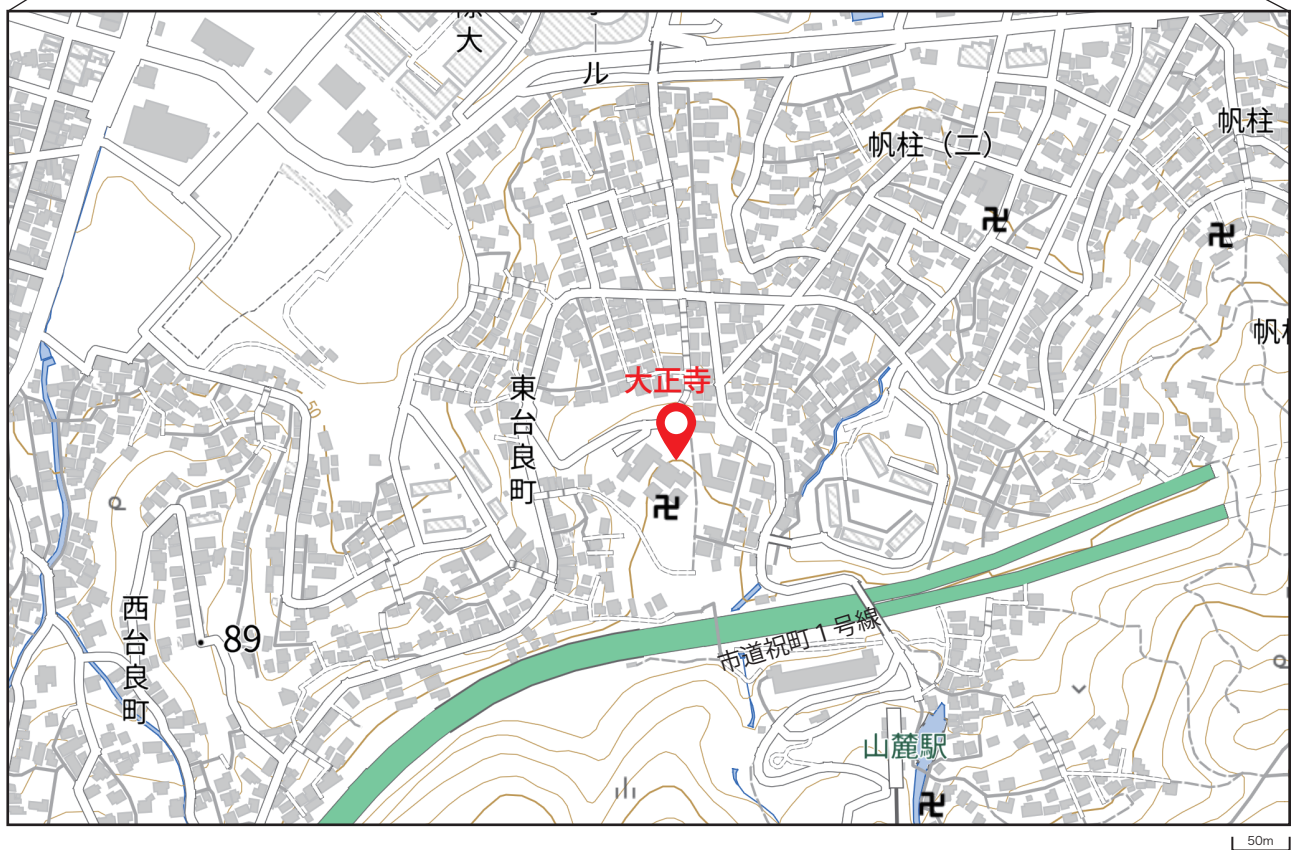
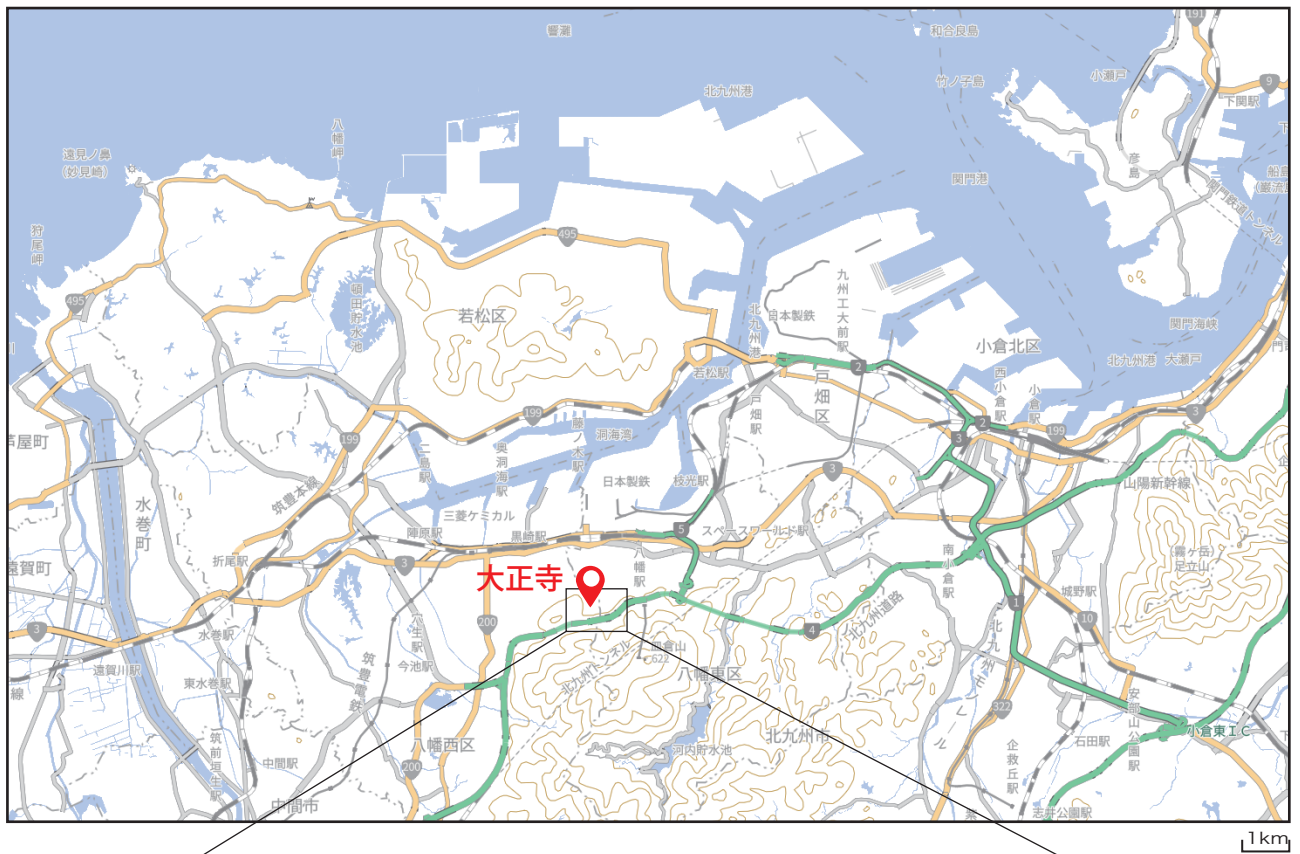


図1 大正寺積翠庵位置図（国土地理院地図を基に作成）

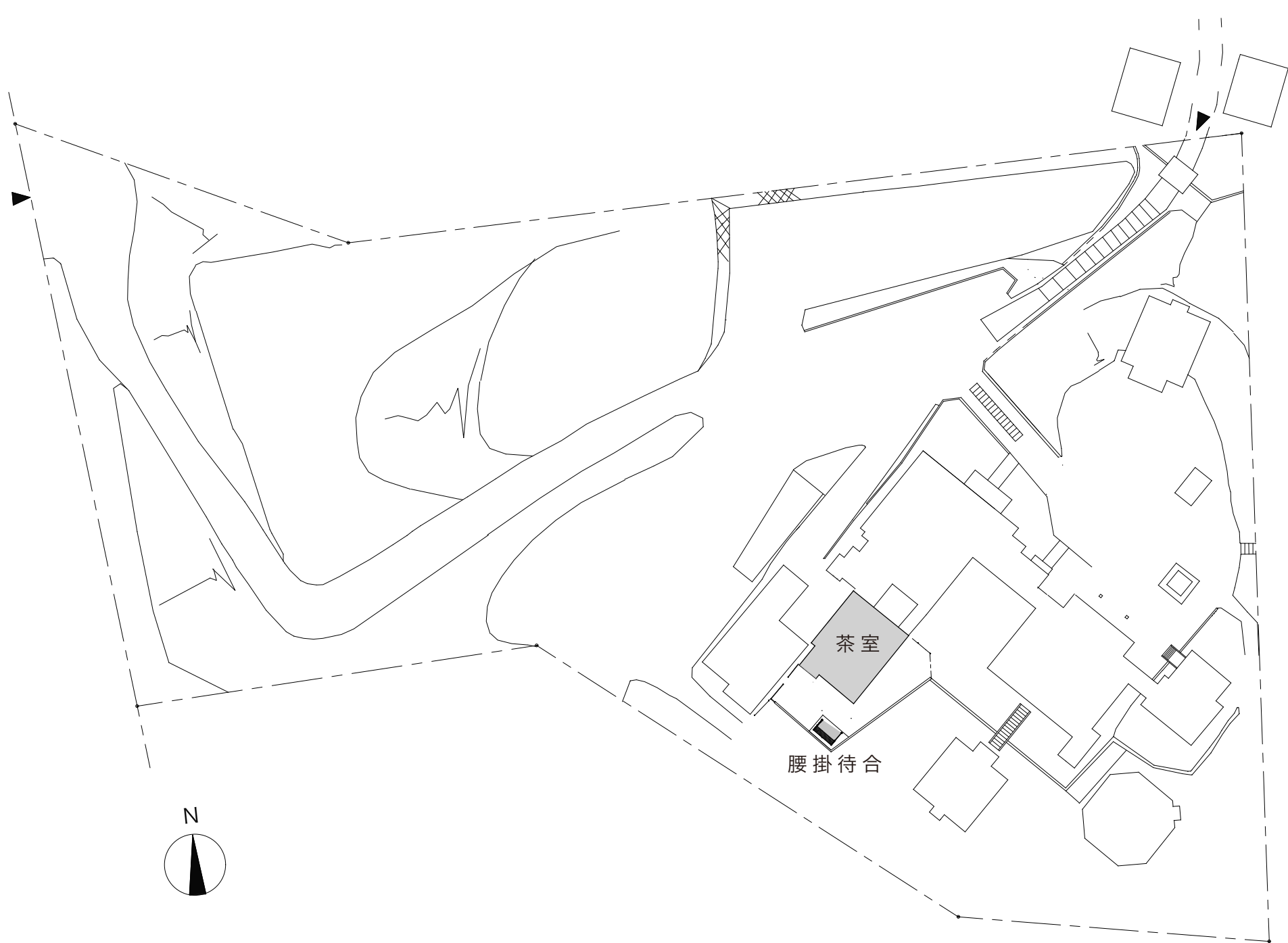


図 2 大正寺積翠庵配置図 (1/600)



写真 1 大正寺積翠庵茶室外観
(北九州市提供)



写真 2 大正寺積翠庵茶室内観
(北九州市提供)



写真 3 大正寺積翠庵腰掛待合
(北九州市提供)